

model D-2



このたびは、TOA エレクトロニックステレオミュージックミキサ(キーボードミキサ) D-2をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

●目次

概 要.....	2
特 長.....	2
各部の名称と使い方(フロントパネル).....	3
各部の名称と使い方(リアパネル).....	4
接続機器の選び方.....	4
接続例.....	5
ブロック/レベルダイヤグラム.....	5
仕 様.....	6
特性図.....	6
外觀寸法図.....	6

●ご使用になる前に

1. 電源電圧について

AC100V $\pm$ 10% (50/60Hz) 以内でご使用ください。

2. フロントパネルの機能および各部の名称について

ミキサの各部の名称については、使用法や使用する分野(例えばPAや録音)によって、多くの呼び名が用いられていますが、この取扱説明書では混乱をさけるため、D-2に使われている各部の名称に従って説明しています。

● 概 要

D-2は、19インチのEIAラックにマウントできる1サイズのエレクトロニクスステレオミュージックミキサ(ステレオキーボードミキサ)です。入力回路は4回路あり、すべてステレオ入力ですから4台のキーボードをステレオでミキシングできます。又、独立したテープ入力を持っていますので、テープのプレイバックと合わせてキーボードの演奏が楽しめます。出力回路もステレオ出力、サム出力、エフェクト出力、録音出力を持っていますので、アマチュアからプロフェッショナルまで幅広くご使用いただけます。

● 特 長

1. 4チャンネル入力、2チャンネル出力のステレオキーボードミキサをEIAラック1サイズにまとめたコンパクトミキサです。
各入力チャンネルはステレオ回路になっておりますので、実力は8チャンネルと同等です。
2. 各入力チャンネルには高音、低音の2ステージのイコライザを持っていますので、各キーボードに応じた音づくりができます。
3. 各チャンネルにバランスコントロールを持っていますので、ステレオ入力のときは左右のバランス、モノラル入力のときはパンポットとして働き、音像の定位が自由に設定できます。
4. 各入力チャンネルにはクリップインジケータが付いていますので、ひずみ発生の状態が一目でわかります。
5. ステレオ出力系にはリミッタ、コンプレッサなどのエフェクタが接続できるアクセサリ、パッチポイントを持っています。
6. ステレオ出力は接続するパワーアンプの入力レベルに応じて出力レベルを-10dB、+4dBの2段階に切換えられますので、プロ用のパワーアンプからコンシューマのステレオアンプまで接続機器が自由です。
7. L/R信号をミックスした、サム出力を持っていますので、F.B. (ホールドバック)などに利用できます。
8. 独立したテープ入力端子と録音出力端子を持っていますので、入出力回路を犠牲にせずにテープデッキを接続できます。

●各部の名称と使いかた(フロントパネル)

エフェクト音量調整器(外側)
[EFF]
各入力チャンネルからエフェクトへ送り出す信号の音量を調整します。

クリップインジケータ
各入力チャンネルのイコライザの前、後で信号がクリップ(ひずみが発生)する30分前に達すると点灯します。点灯したときは入力音量調整器を左に回して大きな信号が入ってきたとき、ときどき点灯するぐらいに調整してください。

入力音量調整器(中側)
[LEVEL]
各入力チャンネルに入力された信号の音量をL、R同時に調整します。

高音イコライザ(HIGH)
各入力チャンネルの高音の音質を調整します。“0”の位置でフラットな特性です。±10dB(4kHz)、±15dB(20kHz)の範囲で調整することができます。

低音イコライザ(LOW)
各入力チャンネルの低音の音質を調整します。“0”の位置でフラットな特性です。±10dB(150Hz)、±15dB(20Hz)の範囲で調整することができます。

バランス調整器(BALANCE)
各入力チャンネルに入力されたステレオ信号のバランスを調整します。L方向にスライドさせれば音像が左にR方向にスライドさせれば音像が右に移動します。中央のクリック位置で電氣的に左右バランスのとれた状態です。各入力端子のRの端子にモノラルの信号を入力されたときはパンポットとしてはたります。

サマ出力音量調整器
[SUM OUT]
ステレオ出力L、Rの信号をステレオ出力音量調整器の手前で合成し、モノラルの信号として出力する時の音量調整器です。

ステレオ出力音量調整器
[STEREO OUT]
各入力チャンネルで調整された信号をまとめて調整し、ステレオ出力L、Rに送り出します。

ヘッドホン端子(PHONES)
ステレオ出力(L、R)信号をステレオヘッドホンでモニターできます。使用されるヘッドホンのインピーダンスが8Ω以上のものを接続してください。

電源インジケータ
電源が入れば点灯します。

電源スイッチ(POWER)
押すと電源が入り、もう1度押すと電源が切れます。

エフェクトリターン音量調整器
[EFF RET]
外部に接続されたエフェクタからの信号の音量を調整します。

テープ入力音量調整器
[TAPE IN]
テープのプレイバック信号の音量やテープ入力端子に接続された機器の音量を調整します。

TAPE IN、EFF RET、STEREO OUTの二重ボリュームはフリクションタイプにしておりますので中軸(L側)を廻らすと外軸(R側)も同時に廻ります。設定上の都合でL、Rのレベルを変えたいときは外側のツマミを手で持ちながら中側のツマミを廻してください。

●各部の名称と使いかた(リアパネル)

録音出力端子(REC OUT)
テープデッキのライン入力端子に接続してください。出力レベルは-10dB出力インピーダンスは1kΩです。

アース端子
本体のアースをとってください。

テープ入力端子(TAPE IN)
テープデッキのライン出力端子に接続してください。入力レベルは-10dB、入力インピーダンスは50kΩです。

ステレオL、Rアクセサリ入出力端子(ACC L、R、IN OUT)
ステレオL、R出力へのエフェクタ(リミッタなど)の挿入用ジャックです。入出力レベルは-10dB、入力インピーダンスは10kΩ、出力インピーダンスは1kΩです。

エフェクト出力端子(EFF SEND)
エコーマシン、ディレーマシンなどのエフェクタの入力端子に接続します。出力レベルは-10dB出力インピーダンスは1kΩです。

エフェクトリターン入力端子(EFF RET L、R)
エフェクタの出力を接続してください。R側だけを使いますとL、R、モノラルのエフェクト効果が得られます。エフェクト効果をステレオにしたいときは、Rそれぞれ接続してください。

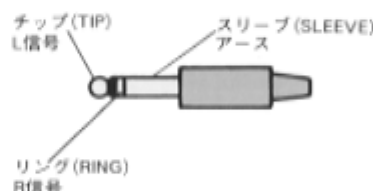
サム出力端子(SUM OUT)
会場内PAなどのモノラル信号が必要とき、この端子を使用してください。

電源コード
AC100Vのコンセントに差し込んでください。

ステレオ出力、出力レベル切替スイッチ
(STEREO OUT LEVEL +4dB/-10dB)
接続されるアンプの入力レベルに合わせてください。プロ用のアンプのときは+4dB側、ステレオアンプのAUXに接続される場合は-10dB側にしてください。

ステレオ出力端子
(STEREO OUT L、R)
メインアンプやステレオアンプのAUX端子に接続してください。インピーダンスは1kΩです。

入力端子(INPUT 1-4 L、R)
各チャンネルの入力端子です。R側だけを接続するとモノラルになり、出力のL、R同じ信号が出力されます。ステレオ入力したいときは各チャンネルのL、R入力端子に記した信号をそれぞれ接続するか、L入力端子にステレオプラグで接続してください。その場合はステレオプラグの先端がL、中間リング部がR、長い所がL、R共通のアースです。キーボードのヘッドホン端子やテープレコーダ、ドラムマシンのヘッドホン端子から1本のコードでステレオ信号が接続できます。



ステレオプラグ(TRSプラグ)

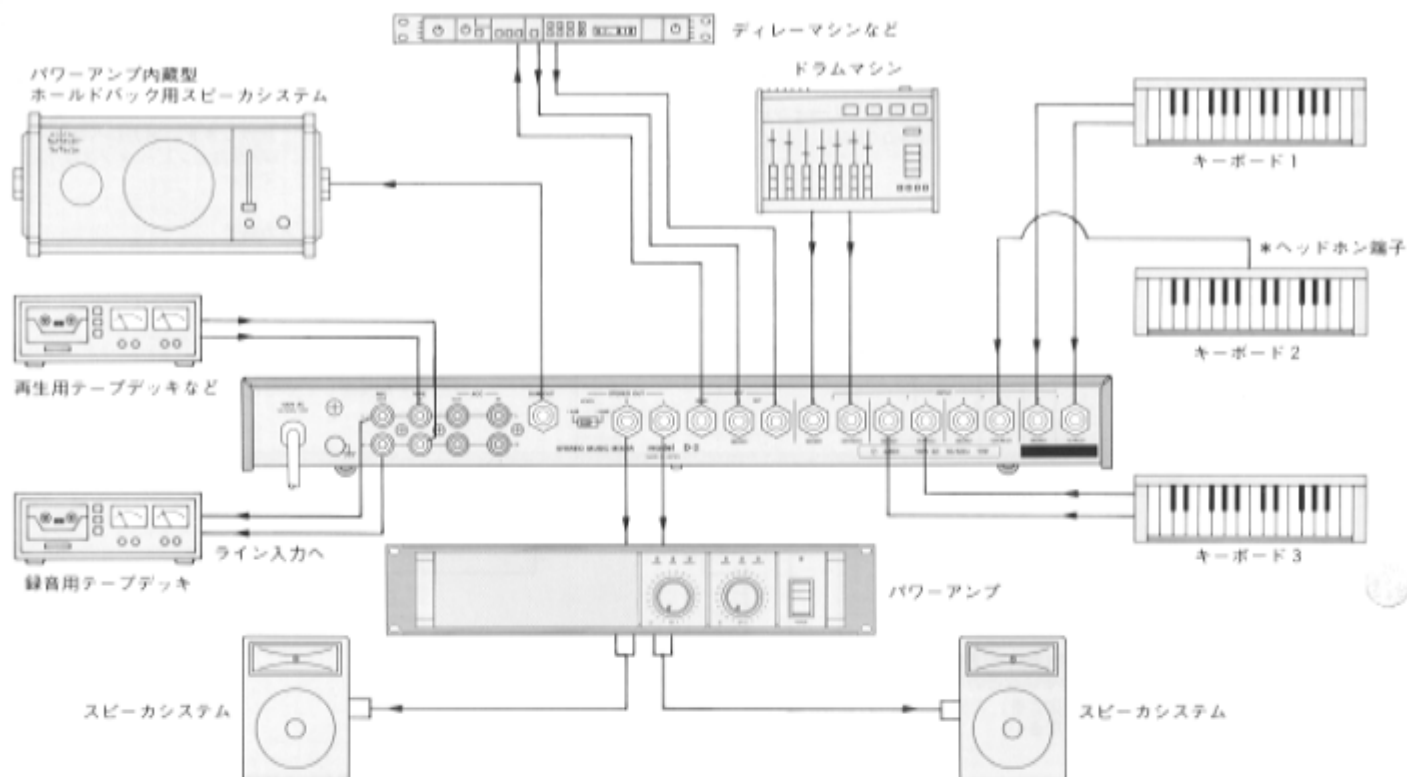
*モノラル接続のときの入力端子(ジャック)について

入力ジャックおよび出力ジャックがステレオ対応で2回路あるときは、一般的にはL側がモノラルの入出力ですがD-2ではステレオ信号を1本のコードで接続できるような回路を採用しましたためにモノラルの入力はR側のジャックになっています。

●接続機器の選び方

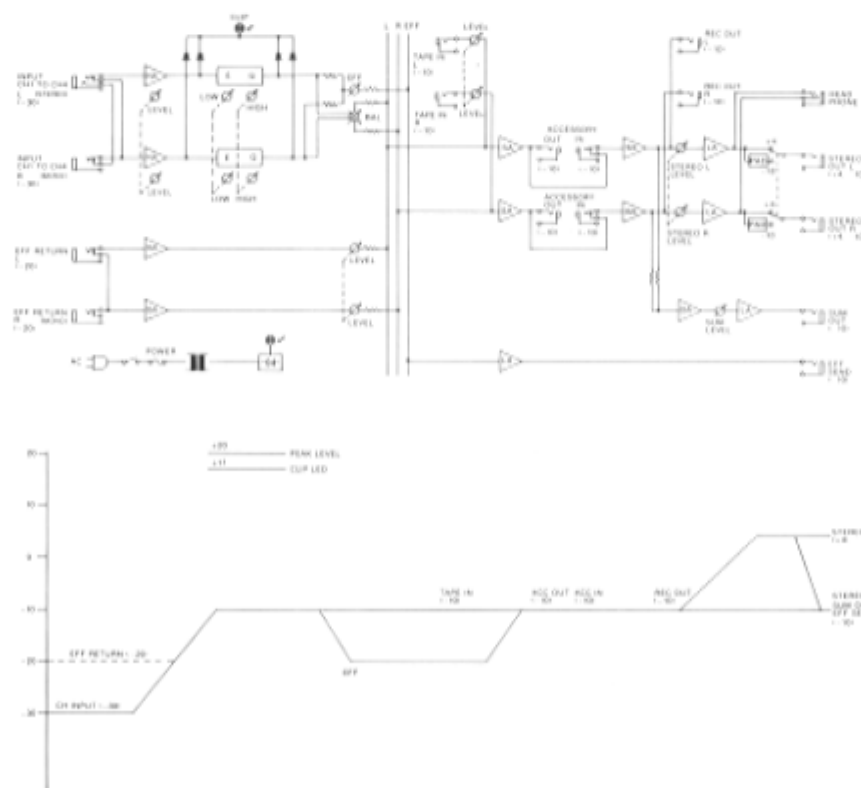
- 一般的に機器間を接続するときは、信号を送り出す機器の出力インピーダンスと受け取る機器の入力インピーダンスを整合(インピーダンスマッチング)するか、信号を送り出す機器の出力インピーダンスを低く、信号を受け取る機器の入力インピーダンスを高くすればトラブルが発生しないと言われています。いわゆる“ロー出しのハイ受け”を常に考えて接続する機器を選んでください。もちろん入出力インピーダンスだけでなく接続する機器のレベルも考えなければなりません。

● 接続例



*ステレオ信号を1本のコードで接続するときはキーボード、ドラムマシンなどのヘッドホン端子とD-2の各入力チャンネルのL側ジャックにステレオ(TRS)プラグ付のコードで接続してください。

● ブロック / レベルダイアグラム



●仕様

入力関係	チャンネル入力(L,R共) CH-1~CH-4	基準レベル*	最大許容入力*	インピーダンス
	エフェクトリターン(L,R共)	-20dB	+10dB	10k Ω
	テープ入力(L,R共)	-10dB	∞	50k Ω
	アクセサリ入力(L,R共)	-10dB	+20dB	10k Ω
	ステレオ出力(L,R共)	-10/+4dB	+6/+20dB	1k Ω
出力関係	サム出力	-10dB	+20dB	1k Ω
	ヘッドホン出力	-20dB	-5dB	100 Ω
	録音出力	-10dB	+20dB	1k Ω
	アクセサリ出力	-10dB	+20dB	1k Ω
	エフェクト出力	-10dB	+20dB	1k Ω
周波数特性	20Hz~20kHz +0, -1dB			
歪率	0.05% (+4dB 1kHz)			
雑音	残留雑音(ALL MIN) -95dB*			
	ステレオ音量調整器のみ MAX -78dB*			
	1チャンネル入力音量調整器 MAX -75dB*			
	ステレオ音量調整器 MAX (S/N: 79dB)			
最大電圧利得	チャンネル入力→ステレオ出力 34/20dB			
	チャンネル入力→サム出力/録音出力 →ACC出力/エフェクトセンド 20dB			
	エフェクトリターン→ステレオ出力 24dB			
	テープ入力→ステレオ出力 14dB			
イコライザ2ポイント	LOW 20Hz ± 15 dB シェルビング HIGH 20kHz ± 15 dB シェルビング			
クリップインジケータ	クリップ前3dBで点灯			
消費電力	10W			
寸法	48(H)×483(W)×312(D)mm			
重量	3.8kg			

* 0dB=0.775VRMS

コントロール

マスタ系

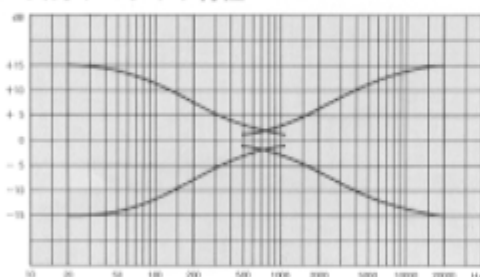
サム出力音量調整器
ステレオ出力音量調整器
エフェクトリターン音量調整器
テープ入力音量調整器

各入力チャンネル

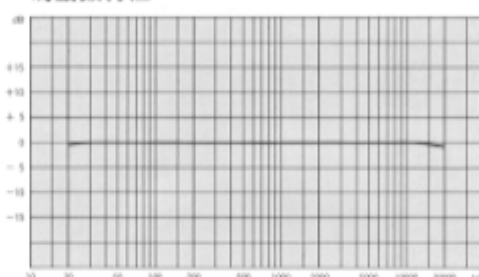
入力音量調整器
エフェクト音量調整器
高音音質調整器
低音音質調整器
クリップインジケータ
バランス調整器

●特性図

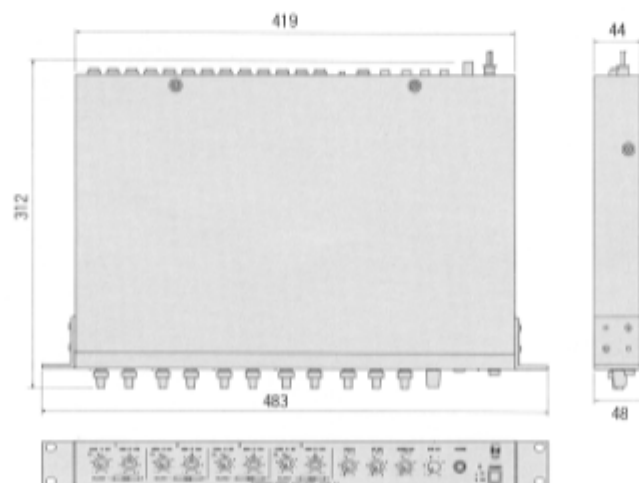
入力イコライザ特性



周波数特性



●外観寸法図





TOA 株式会社

TOA・インフォメーション・センター

商品や技術など、各種お問合せにお応えします。
営業時間 9:30～17:30(日曜・祝日除く)

〒112-0120 東京都文京区

〒112-0120 東京都文京区

〒112-0120 東京都文京区
TEL 03-797-72-7567
FAX 03-797-72-1090

札幌営業所 TEL(011)231-4641代
青森営業所 TEL(0177)23-3751代
盛岡営業所 TEL(0196)54-5211代
仙台営業所 TEL(022)296-8100代
郡山営業所 TEL(0249)23-7744代
水戸営業所 TEL(0292)31-3811代
甲府営業所 TEL(0286)62-1431代
高崎営業所 TEL(0273)26-3955代
多摩営業所 TEL(0425)84-1711代
長野営業所 TEL(0262)26-3628代
新潟営業所 TEL(025)246-2316代
千葉営業所 TEL(043)255-6111代
大宮営業所 TEL(048)685-5131代
千代田営業所 TEL(03)3814-7711代

横浜営業所 TEL(045)281-2721代
東京電設 TEL(03)3814-6211代
静岡営業所 TEL(054)237-8850代
金沢営業所 TEL(0762)33-1951代
岐阜営業所 TEL(0562)76-1401代
名古屋営業所 TEL(052)971-8211代
名古屋電設 TEL(052)962-5721代
津営業所 TEL(0592)24-6645代
日本橋営業所 TEL(06) 643-1090代
京都営業所 TEL(075)801-7328代
神戸営業所 TEL(078)577-4326代
堺営業所 TEL(0722)21-6665代
大阪電設 TEL(06) 358-1161代
高松営業所 TEL(0878)51-3166代

松山営業所 TEL(0899)31-1566代
岡山営業所 TEL(0862)41-8029代
広島営業所 TEL(082)291-3888代
北九州営業所 TEL(093)561-4722代
福岡営業所 TEL(092)431-0061代
熊本営業所 TEL(096)384-1612代
鹿児島営業所 TEL(0992)56-5245代
那覇営業所 TEL(0988)66-5538代

プロサウンド TEL(03)3815-8731代
東京営業所
プロサウンド TEL(06) 303-5631代
大阪営業所
営業開発部 TEL(03)3818-4721代
TEL(06) 358-1147代 43

133-02-744-0A